

# ポーランド政治・経済・社会情勢

(2016年10月20日～2016年10月26日)

平成 28 年(2016 年)10 月 28 日

H E A D L I N E S

## 政治

憲法法廷問題に関するEU高官の発言  
 PiSの総選挙勝利1周年に際する要人の発言  
 エジプトが仏製強襲揚陸艦ミストラルをロシアに売却したと国防大臣発言  
 ソロフ国家安全保障局長官、訪米  
 コヴナツキ国防副大臣、2機のG-550を要人輸送機に購入予定と発言  
 下院国防委員会に国防予算案を提出  
 ポーランド及びウクライナ国会の「記憶と連帯の宣言」採択  
 下院、難民の自動分配への反対決議を採択  
 シドウウォ首相の欧州理事会出席  
 マチエレヴィチ国防大臣、大学で講演  
 ヴァシチコフスキ外相のバチカン訪問  
 ドウダ大統領のハンガリー動乱60周年記念式典に出席  
 国防大臣、多用途ヘリの交渉再開の関連発言  
 ヴァシチコフスキ外相のラテンアメリカ・カリブ諸国とEUの外相会合に出席  
 国防大臣、ロシア・コルベツ艦のバルト海に侵入に懸念を表明  
 カルチェフスキ上院議長のエストニア訪問  
 マチエレヴィチ国防大臣、NATO国防大臣会合に参加

## 経済

鶏卵のサルモネラ菌感染  
 ミンスク経済フォーラムの開催  
 VAT 法改正  
 対露貿易が増加  
 家庭でのインターネットが普及  
 電気自動車開発計画は準備段階に  
 今季のリンゴ生産量  
 企業の人手不足  
 ポーランドのビジネス環境は24位:世銀報告書  
 第2回クリーンコールセミナーが開催

## 大使館からのお知らせ

ポーランド独立記念日の行進に関するお知らせ  
 パスポートダウンロード申請書のご案内  
 海外に渡航・滞在される方の安全対策のためのお知らせ  
 大使館広報文化センター開館時間  
 文化行事・大使館関連行事

ポーランド日本国大使館  
 ul.Szwolczerow 8, 00-464 Warszawa Tel:+48 22 696  
 5000[http://www.pl.emb-japan.go.jp/index\\_j.htm](http://www.pl.emb-japan.go.jp/index_j.htm)

【お願い】3か月以上滞在される場合、「在留届」を大使館に提出してください。大規模な事故・災害等が発生した場合、所在確認・救援の根拠となります！  
 問合せ先大使館領事部 電話 22 696 5005 Fax 5006 各種証明書、在外投票、旅券、戸籍・国籍関係の届出についてもどうぞ。

## 政 治

## 内政

憲法法廷問題に関するEU高官の発言【20日】

20日、ティーマンス欧州委員会副委員長は、7月27日に欧州委員会が法の支配メカニズムの第二段階として採択したポーランドの憲法法廷問題に関する勧告に対するポーランド政府からの回答の期限(3カ月)が目前に迫る中、ポーランド政府から回答があることを期待している、自分はポーランドの憲法法廷問題が解決するまで関与し続ける旨発言した。また、同副委員長は、司法の独立は個人の権利のみならず、ポーランドが裨益しているEUの単一市場の運営の観点からも重要である旨述べた。

同日、トゥスク欧州理事会議長は、ポーランド政府の憲法法廷問題への対応への批判的な姿勢を示しつつ、欧州委員会の法の支配メカニズムの第三段階である予防・制裁メカニズムが発動される可能性につき、そのような決定は(28加盟国の)全会一致

で下されなければならない、ポーランドへの制裁の決定は行われまいであろう旨述べた。

PiSの総選挙勝利1周年に際する要人の発言【24日・25日】

24日、シドゥウォ首相は、昨年10月の総選挙にて「法と正義」(PiS)が勝利してから1年が経過したことを受け、我々はこの1年間に児童手当の導入、住宅建設計画の発表、最低賃金の上昇など多くの成果を上げた、我々は政治家ではなく一般市民のために活動している旨述べた。

25日、ドゥダ大統領は、現政権は児童手当等これまで誰も達成できなかったことを実現している、自分は今後も政府と共に政策を進めていく旨述べた。

## 外交・安全保障

エジプトが仏製強襲揚陸艦ミストラルをロシアに売却したと国防大臣発言【20日】

20日、マチュレヴィチ国防大臣がフランス・エアバス社とのカラカル多用途ヘリの契約破棄に関連した下院国防委員会の質疑において、エジプトが仏製強襲揚陸艦ミストラルをロシアに売却したと発言した。

ポーランド国防省は、ロシアはミストラルがロシアにあるのかどうか明らかにすべきで、そのような軍艦の存在はバルト海や黒海の戦力バランスを変化させるとし、ロシアに説明を求めた。

ソロフ国家安全保障局長官、訪米【20日】

20日、ソロフ国家安全保障局長官は、米国において、NATOの変革連合軍を訪問し、最高司令官のポール・パロメロ大将と懇談し、ビドゴシチに所在する統合訓練センターの役割を強化するよう述べた。同訓練センターは、アフガニスタン派遣等の部隊派遣訓練が多い傾向があったが、近年、集団安全保障任務に関連した訓練へと変化しつつある。

コヴナツキ国防副大臣、2機のG-550を要人輸送機に購入予定と発言【20日】

20日、コヴナツキ国防副大臣は2機のガルフストリーム・G-550をポーランドの要人輸送機として購入する予定と伝えた。同機は米国・ジェネラルダイナミクス社製で、16人乗り、5千キロの航続距離を有する。契約は仏・ファルコンX7と競合していたが、国防省は仏・X7は要求基準を満たさなかったと説明した。

下院国防委員会に国防予算案を提出【20日】

20日、国防省は、下院国防委員会に国防予算案を提出し、グラビツキ国防次官が同席した。予算案は、総額137億ズロチで、昨年より1.3%増加した。

ポーランド及びウクライナ国会の「記憶と連帯の宣言」採択【20日】

20日、ポーランド下院及びウクライナ最高会議は、第二次世界大戦の原因とその影響を記憶に留め、安全保障と自由を守るために共同で努力するように呼びかけることを目的とした「記憶と連帯の宣言」を採択した。

下院、難民の自動分配への反対決議を採択【21日】

21日、下院は、欧州議会及びEU理事会が準備しているEU域内における難民の自動的な分配に関する規則案に反対する決議を賛成431票、反対0票、棄権1票で採択した。同決議案を作成したクロツ下院議員は、EUの規則案は各加盟国の難民問題への幅広い関与の実情、難民を受け入れる能力等を考慮していない旨述べた。

シドゥウォ首相の欧州理事会出席【20-21日】

20-21日、シドゥウォ首相は、ブリュッセルにて開催された、EUの難民政策、国際貿易及びロシアとの関係を主要議題とした欧州理事会に出席し、EU諸国の間で、ポーランド政府が最優先課題としてきた移民の再移転の割当方針(の見直し)などを含めたEUの難民政策に関する議論が始まったことに満

足している、シリアでの爆撃が継続されている状況の改善がなければ、ポーランドは、ロシアに対する制裁について再度討議するように提案する意向である旨述べた。

**マチェレヴィチ国防大臣、大学で講演【22日】**

22日、マチェレヴィチ国防大臣は、国内の大学で安全保障の講演を行い、NATOの多国籍大隊のスヴァウキ展開は、来年1月に開始され、兵力数は、米兵900人を含む、英国、ルーマニアからの合計1,200人になるだろうと述べた。また、合計4,500人の機甲旅団も来年1月から開始されると見通しを示した。

**ヴァシチコフスキ外相のバチカン訪問【22日】**

22日、ヴァシチコフスキ外相は、バチカンを訪問し、パロリン大司教国務長官との会談にて、ローマ法王のポーランド訪問、世界青年の日及びポーランドのキリスト教受洗1050周年における協力への感謝を示すと共に、ウクライナ紛争及び移民問題を含めた世界情勢について意見交換した。

**ドゥダ大統領のハンガリー動乱60周年記念式典に出席【23日】**

23日、ドゥダ大統領は、同式典に招待された唯一の外国元首として、ブダペストのコシュート広場にて開催された1956年のハンガリー動乱60周年記念式典に出席した。同大統領はその演説で、ハンガリー市民は尊厳を持ち、共産主義によって奪われた自由を求めて蜂起した、大きな代償を払ったが、長年の迫害と苦痛に耐え、自由を取り戻すことが出来た、ポーランドは、1956年の動乱時にハンガリーを支援したように、何時までもハンガリーの親友であり、厳しい時代の中でもポーランドは信頼できると述べた。

**国防大臣、多用途ヘリの交渉再開の関連発言【24日】**

24日、マチェレヴィチ国防大臣は、テレビ局の取

材において、多用途ヘリの交渉再開に関連し、ミエツ社、シフェドニク社及びエアバス社の各社に対して、10月28日までに国防省の要求基準に対する提案書の提出を要請したと述べた。

**ヴァシチコフスキ外相のラテンアメリカ・カリブ諸国とEUの外相会合に出席【25-26日】**

24-26日、ヴァシチコフスキ外相は、ドミニカ共和国のサントドミンゴ市にて開催されたラテンアメリカ・カリブ諸国(CELAC)とEUの外相会合に出席し、CELAC13カ国の外務大臣及び副大臣と会談し、二国間関係の強化及びポーランドの安保理非常任理事国の立候補に焦点を置いて意見交換した。

**国防大臣、ロシア・コルベット艦のバルト海に侵入に懸念を表明【26日】**

26日、マチェレヴィチ国防大臣は、ロシアが核兵器搭載可能なブーヤンM型コルベット艦2隻をバルト海に侵入させたことは、バルト海の勢力の均衡を変化させる重要な問題で、明白な懸念があると述べた。

**カルチェフスキ上院議長のエストニア訪問【25-26日】**

25-26日、カルチェフスキ上院議長は、ネストル・エストニア議会議長の招待を受け、エストニアを訪問し、エストニア議会の代表団と面会し、二国間関係、EU情勢及びNATOワルシャワ首脳会合の結果について意見交換した。

**マチェレヴィチ国防大臣、NATO国防大臣会合に参加【26-27日】**

26-27日、マチェレヴィチ国防大臣は、ブルツェルで開催されたNATO国防大臣会合に参加した。会合において、ポーランドにローテーション展開するNATO大隊の構成は、米国からの基幹部隊とともに、英国、ルーマニアから増強され、展開場所は北東部のオジェシュ等の予定であり、また、4個大隊を指揮する師団司令部は、ポーランド軍16機械化師団司令部が所在するエルブログの予定で合意された。

経 済  
経済政策

**鶏卵のサルモネラ菌感染【20日】**

ポーランド農業省によれば、ポーランド西部の農場から出荷された鶏卵がサルモネラ菌に感染していたとオランダの食品管理当局が欧州委員会に通報した。農業省はこの農場の鶏卵の販売を加熱処理するもの以外禁止する命令を出したが、スカンジナビア、イギリス、ベルギー、ルクセンブルグに販売された可能性があるとのこと。

**ミンスク経済フォーラムの開催【24日】**

ベラルーシの首都ミンスクで、第20回ポーランド・ベラルーシ経済フォーラムが開催され、500名が参加した。開会式に出席したモラヴィエツキ副首相兼開発・財務大臣は、二国間協力はエネルギー分野にとどまらず、中小企業同士の協力など幅広く、ポーランドはベラルーシにとりEU市場への通過点となり得ると挨拶した。ベラルーシからは副首相、上院議長等が参加した。

**VAT 法改正【25日】**

政府は、税の徴収改善を目的とする VAT(付加価値税)法の改正を承認した。脱税等の場合の罰則を

厳しくする内容で、税率は23%に据え置かれる。改正により2017年に36億9千万ズロチの歳入増を見込んでいる。

## マクロ経済動向・統計

**対露貿易が増加【26日】**

中央銀行(NBP)によれば、2016年第2四半期のポーランドの対ロシア貿易は対前年同期比7%増

の4億ズロチで3年ぶりに増加した。鉄道車両、自動車部品、医薬品の輸出が伸びたのが要因。

## ポーランド産業動向

**家庭でのインターネットが普及【22日】**

中央統計局(GUS)の発表によると、2016年の家庭でのインターネット普及率は80.4%に達する見込みで、昨年よりも4.6%ポイント高くなった。子供のいる家庭での普及率は高い傾向にあった。インターネットへのアクセスがない家庭の理由としては、必要がない、インターネットを扱う技術がない、費用が高い、等が挙げられている。

によれば2015年のポーランドのリンゴ生産量はEUで最も多く、イタリア、フランスがこれに続いている。

**企業の人手不足【25日】**

ジェチポスポリタ紙によれば、約4分の3の企業が人手不足に悩んでおり、賃上げが加速する可能性もある。民間調査会社によれば、人手が足りているとしている企業は4%だった。

**電気自動車開発計画は準備段階に【22日】**

ポーランド政府は、2025年に100万台の電気自動車を普及させることを目標として掲げており、関連産業の育成も含めた法整備を進めている。10月28日にこの計画に関心ある企業等との公聴会を計画している。エネルギー省は、電気自動車は試作車を来年内に完成させるとしており、ポーランド製部品を少なくとも6割使用し、価格も70,000万ズロチまでとするとしている。

**ポーランドのビジネス環境は24位:世銀報告書【25日】**

世界銀行が発表したビジネス環境に関する報告書「Doing Business 2017」において、ポーランドの評価は全体で24位となり、昨年度報告書での25位から順位を一つ上げた。同報告書によると、今年施工された事業再編に関する法令により債権回収が容易になったことや、建設許可の手の簡素化等を挙げている。他方、納税や起業手続については改善の余地があるともしている。本結果について、ハラジ経済開発省次官は、ポーランドの経済は良い方向に向かっており、世界に向けてポーランドがビジネスをすべき国であるということを示しているとコメントした。

**今季のリンゴ生産量【24日】**

ポーランド果樹協会の専門家によれば、2016~2017年にかけてのリンゴの生産は415万トンと見込まれ、昨季の409万トンから増加した。そのうち110万トンが輸出される。欧州委員会統計局

## エネルギー・環境

**第2回クリーンコールセミナーが開催【25日】**

経済産業省、(一財)石炭エネルギーセンター及びポーランド・エネルギー省主催による第2回クリーンコールセミナーがワルシャワ市内で開催された。日本側からは松富大使を始め政府、企業及び

大学等関係者、ポーランド側からはピオトロフスキ・エネルギー省次官を始めとする政府、企業及び大学関係者等約120名が参加し、クリーンコール普及に向け双方から政策や技術に関する紹介が行われた。

## 大使館からのお知らせ

**ポーランド独立記念日の行進に関するお知らせ**

11月11日(金)は、当国の独立記念日にあたり、毎年、ワルシャワでは文化科学宮殿や旧市街等の周辺において、大規模なパレードや集会が開催され、これに伴い、市内の多くの場所において交通規制が発生するこ

とが予想されます。数年前には、ワルシャワ市内等において行われたパレードの際、一部の暴徒がロシア大使館の警備小屋に放火するなどの事態が発生し、昨年も参加者の一部が警察と衝突し多数の拘束者が出ました。

については、同日はパレード等が行われる周辺地域では十分ご注意くださいと共に、混乱する状況に遭遇した場合には、無用のトラブルを避けるためにもその場から速やかに離れるよう、ご留意願います。

なお、当日パレード(ワルシャワ市内)が実施されるルートについては、下記のリンク先もご参照下さい。

[https://www.google.com/maps/d/viewer?mid=1HG8HOT6VRkUEZxN-f\\_mzCLfCd2s](https://www.google.com/maps/d/viewer?mid=1HG8HOT6VRkUEZxN-f_mzCLfCd2s)

### パスポートダウンロード申請書のご案内

本年1月4日から、パスポートダウンロード申請が開始されています。日本国外でパスポート申請を行う方は、ご自宅などでこれらの申請書をダウンロードし、必要事項を入力・印刷することで、パスポートの申請書が作成できるようになります。詳しくは、下記リンク先をご覧ください。

[http://www.mofa.go.jp/mofaj/ca/pss/page3\\_001509.html](http://www.mofa.go.jp/mofaj/ca/pss/page3_001509.html)

### 海外に渡航・滞在される方の安全対策のためのお知らせ

当館ホームページにおきまして、テロ・感染症・麻薬犯罪等対策と「たびレジ」による緊急連絡先登録のお願いを掲載しております。詳しくは下記リンク先をご覧ください。

<http://www2.anzen.mofa.go.jp/info/pcwideareaspecificinfo.asp?infocode=2015C361>

### 大使館広報文化センター開館時間

月曜日 9:00 - 19:00 火曜～金曜日 9:00 - 17:00

当センターでは、日本関連行事や各種展示のほか、マンガコーナーを含む書籍の閲覧、本・CD・DVD等の貸出しを行っています。

イベント情報: <https://www.facebook.com/JapanEmb.Poland>

問合せ先: 在ポーランド日本大使館広報文化センター(電話: 22-584- 73 00 , E メール:

[info-cul@wr.mofa.go.jp](mailto:info-cul@wr.mofa.go.jp), 住所: Al. Ujazdowskie 51, Warszawa)

## 文化行事・大使館関連行事

### 【開催中】展覧会:「俳優、人形、影。日本と中国の演劇」【9月16日(金)～10月31日(月)】

ワルシャワ市の国立歌劇場付属演劇博物館にて、日本と中国の演劇に関する展覧会が開催され、能面、衣装、小道具、楽器などが展示されています。

開催場所: ワルシャワ市国立歌劇場オペラの演劇博物館, ul. Plac Teatralny 1

詳細:

<http://teatrwielki.pl/dzialalnosc/muzeum-teatralne/wystawy/aktorzy-lalki-i-gra-cieni-teatr-w-chinach-i-japonii/>

### 【開催中】花鳥画展【9月21日(水)～12月31日(土)】

クラクフ市の日本美術技術博物館 Manggha にて、花鳥画展が開催中です。

開催場所: マウオポルスカ県, クラクフ市, 日本美術技術博物館, ul. M. Konopnickiej 26

詳細: <http://www.manggha.pl/exhibition/81>

### 【開催中】展覧会「現代日本書道における西洋文化の影響」【10月20日(木)～11月6日(日)】

トルン旧市庁舎博物館にて、日本現代書道に関する展覧会が開催され、7種の書風による書道作品99点が展示されています。

開催場所: トルン旧市庁舎博物館, Kamienica pod Gwiazda, ul. Rynek Staromiejski 35

詳細: <http://www.muzeum.torun.pl/>

### 【開催中】文化祭: 日本芸術フェスティバル【10月22日(土)～11月6日(日)】

ワルシャワ市にて、チビワル基金主催による文化祭『日本芸術フェスティバル』が開催中です。様々なワークショップ(折り紙・墨絵等)、日本人アーティストによる展覧会、伝統的な音楽のミニコンサートなどが予定されています。

開催場所: マゾフシェ県, ワルシャワ市, Crux, ul. Hoża 51

詳細: <https://www.facebook.com/events/1807471602830452/>

**【開催中】日本映画祭【10月25日(火)~28日(金)】**

ワルシャワの映画館 Elektronik にて音楽をテーマとした作品による「日本映画祭」が開催中です。各映画入場料 15PLN。(英語・ポーランド語字幕付)

上映スケジュール:

10月28日(金) 20時 「くちびるに歌を」三木孝浩監督作品 2015年

サイドイベント(無料):

10月28日(金) 19時 ピアノとバイオリンのリサイタル

開催場所: Elektronik 映画館, Gen. Zajaczka 通り 7 番

詳細: <http://kinoelektronik.pl/2016/09/nieznane-oblicza-japonii/>

主催: 在ポーランド日本大使館, 国際交流基金, エレクトロニク映画館

**【予定】ヤン・シビス賞受賞記念展覧会【10月29日(土)~11月29日(火)】**

ポーランドアーティスト連盟ワルシャワ支部主催による『ヤン・シビス賞受賞記念展覧会』にて, 受賞者の鴨治晃次氏による作品の展示が行われます。

開催場所: マゾフシェ県, ワルシャワ市, Galeria DAP, ul. Mazowiecka 11a

詳細: <http://owzppap.org/>

**【予定】第1回ポーランド Japan Bowl®【11月6日(日)10:30~16:00】**

ワルシャワにて, 在ポーランド日本国大使館及びポーランド日本語教師会共催による日本語・日本文化のクイズ大会『Japan Bowl®』が開催されます。

開催場所: マゾフシェ県, ワルシャワ市, 在ポーランド日本国大使館広報文化センター, Al. Ujazdowskie 51

詳細: [http://www.pl.emb-japan.go.jp/kultura/j\\_20161106.pdf](http://www.pl.emb-japan.go.jp/kultura/j_20161106.pdf)

**【予定】水曜映画上映会「サッド ヴァケイション」【11月9日(水)17:30~】**

在ポーランド日本大使館広報文化センターにて, 水曜映画上映会「サッド ヴァケイション」(青山真治監督 2007年)が開催されます(日本語音声, 英語字幕)。入場は無料です。座席に限りがありますので, 参加ご希望の方は事前にご連絡ください。

開催場所: 在ポーランド日本大使館広報文化センター(電話: 22 -584 -73 00, E メール:

info-cul@wr.mofa.go.jp, 住所: Al. Ujazdowskie 51, Warszawa)

**【予定】ウッチの日本文化デー【11月15日(火)~19日(土)】**

ウッチ市にて, 梅田良忠教授記念ポーランド日本教育文化センター主催によるイベント『日本文化デー』が開催されます。東京の歴史をテーマとした講演, 様々なワークショップ(書道, 折り紙, 墨絵等), 日本映画上映会などが予定されています。

開催場所: ウッチ県, ウッチ市, 国立ウッジ考古学民族学博物館, ul. Plac Wolności 14

詳細: <http://bunka.org.pl/>

**【予定】ギジツコの日本文化デー【11月18日(金)~20日(日)】**

ギジツコ市にて, ギジツコ市の合気道クラブ主催によるイベント『日本文化デー』が開催されます。様々なワークショップ(書道, 盆栽, いけばな等)及び武道デモンストレーションが予定されています。

開催場所: ヴァルミア=マズーリ県, ul. 3 Maja 21 11-500 Giżycko

詳細: <https://www.facebook.com/events/118942115243555/>

この資料は, ポーランドの政治・社会情勢を中心に, 各種報道をとりまとめたものです。

報道をベースにしておりますので, 記載事項の信頼性については責任を負いかねます。

記載事項は在ポーランド日本国大使館の見解を示すものではなく, 特定の団体・個人の利益を代表するものではありません。

皆様からの情報提供をお待ちしています

大使館では、読者の皆様に幅広くポーランドの情報をお伝えするため、皆様からの情報をお待ちしています。社会・生活情報やおすすめのイベント、困ったことなど、皆様に伝えたいと思われる情報があれば、下記のアドレスまでご連絡ください。（営利目的など、内容によっては対応できかねる場合もありますのでご了承ください。）

**【お問い合わせ・配信登録】**

本資料は、ポーランドに関心のある方であれば誰でも受け取ることができます。「新たに配信を受けたい」、「送付先メールアドレスを変更したい」、「配信を停止したい」等の依頼につきましては、下記のアドレスまでご連絡ください。

大使館ウェブサイト([http://www.pl.emb-japan.go.jp/index\\_j.htm](http://www.pl.emb-japan.go.jp/index_j.htm))も併せて御覧ください。

[在ポーランド日本国大使館 news@mail@wr.mofa.go.jp](mailto:news@mail@wr.mofa.go.jp)（ご連絡は電子メールでお願いします。）